

平成30年1月16日

「NHK経営計画（2018－2020年度）」議決を受けて

日本放送協会

会長 上田良一

次期3か年経営計画が、本日の経営委員会で議決されました。

現計画で示した「NHKビジョン」の第2ステップと位置づけた上で、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に最高水準の放送・サービスの実現をめざすとともに、効率性を追求しながら創造性を発揮できる組織への改革を進めるため、5つの重点方針を掲げました。

放送では、テレビやラジオの番組をさらに魅力的なものへと充実を図るとともに、今年12月から、超高精細映像と迫力ある音響で臨場感あふれる4K・8Kスーパーハイビジョンの本放送を開始します。

インターネットでは、「いつでも、どこでも」視聴者のみなさまが必要とする情報を手軽にご覧になれるように、利用しやすいサービスの開発や、放送と同時の配信などに取り組んでいきます。

放送を太い幹としつつ、インターネットも活用してサービスを充実させていく“公共メディア”としての目的を明確にするために、今回、「NHKが実現を追求する『公共的価値』」を整理しました。▼正確、公平・公正な情報で貢献 ▼安全で安心な暮らしに貢献 ▼質の高い文化の創造 ▼地域社会への貢献 ▼日本と国際社会の理解促進 ▼教育と福祉への貢献、の6つです。

これらを念頭に置きながら、放送と通信の融合時代に、視聴者のみなさまの期待にしっかりと応える「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていきます。

マネジメントの面では、NHKの取り組みをご理解いただく活動をさまざまなアプローチで展開し、受信料の公平負担の徹底に向けて最大限努力します。また、限られた経営資源で創造と効率を追求するため、「働き方改革」「地域改革」「グループ経営改革」などをNHKグループ全体で推し進め、「信頼されるメディア」に向けて、効率的で公正な組織運営を実践します。

視聴者のみなさまの信頼をより確かなものにし、「大切なことを、より深く、より身近に」伝える“公共メディア”の礎を築くことをめざして、グループ一体となって全力で取り組んでまいります。